

会 議 録

- 1 開催した会議の名称
令和5年度第1回佐賀県がん対策等推進協議会 会議録
- 2 開催日時 令和5年9月1日（金）19：00～20：30
- 3 開催場所 県庁旧館4階正庁
- 4 出席者 【委員（14名）】
貝原 良太(佐賀県医師会)、福島 あさ子(佐賀県薬剤師会)、
原田 雄一(佐賀県歯科医師会)、南里 玲子(佐賀県看護協会)、
勝屋 弘雄(佐賀大学医学部)、北原 賢二(佐賀県医療センター好生館)、
綱田 誠司(嬉野医療センター)、鮫島 隆一郎(唐津赤十字病院)、
糸山 尚美(嬉野医療センター)、佐々木 和美(佐賀大学医学部)、
進藤 和美(多久がんサロン)、清水 剛(佐賀県健康づくり財団)、
古園 裕久(佐賀県商工会議所連合会)、古沢 博文(小城市)
〈順不同・敬称略〉
【事務局（7名）】
健康福祉部 野田医療統括監
健康福祉政策課 がん撲滅特別対策室 岡崎室長 他5名
傍聴者数 0名
- 5 議題
 - 1 佐賀県がん対策推進計画等について
 - (1) 第3次計画（平成30～令和5年度）の進捗状況等について
 - (2) 国の第4期がん対策推進基本計画の概要
 - (3) 第4次計画（令和6年度～）の骨子案について
 - 2 その他

6 会議録

議事 議事進行（会長）野田委員

1 佐賀県がん対策推進計画等について

（発言 ○：委員 ●：事務局）

（1）第3次計画（平成30～令和5年度）の進捗状況等について（資料1、1-1）

【意見】

なし

（2）国の第4期がん対策推進基本計画の概要（資料2）

【意見】

○（南里委員）：資料2、5ページ「分野別施策の概要」から現状・課題の上から4番目、「指針に基づかないがん検診を実施している市町村は約80%と高い状況が続いている」とあるが、この状況で受診率の増加があると。指針に基づかない検診を実施している市町村を含めて受診率が上昇しているということか。どのような意味か教えてほしい。

●（事務局）：指針に基づかないがん検診を実施している市町村の80%という数字は佐賀県ではなく全国の数字。

例えば、国の指針に基づいた乳がん検診では、乳房X線（マンモグラフィ）が検査項目になっているが、市町の助成（オプション）でエコーを選択できる場合は指針に基づかない検診の一例である。

佐賀県だと前立腺がんはオプションで選択できる場合があるが、これも指針に基づかない検診の一例である。

あくまで国が推奨する検診は胃・大腸・肺・乳・子宮の5つのがんのみであり、受診率については指針に基づいたがん検診のみを対象としているため、指針に基づかない検査については、がん検診の受診率に直接影響するものではない。

○（南里委員）：悪いこととしてとらえる必要はないのか。

●（事務局）：国としてはあくまで指針に基づいたがん検診を推奨しているため、この項目を挙げているのではないかと考えられる。

●（野田医療統括監）：例えば、佐賀県では中学3年生を対象としたピロリ菌検査も実施している。県の実情に合わせた医学・医療の考え方も取り入れることに関しては良いわけで、これらは協議会等で必要に応じて県の施策として第4次がん計画に書き込むことになると思う。

何か取り組んだ方がよい、抜けている、といった気づきは無いか。

○（委員から意見無し）

（3）第4次計画（令和6年度～）の骨子案について（資料3、3-1、3-2）

【意見】

なし

2 その他

【意見】

なし

以上